

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

耕作放棄地を活用した雑穀の生産とそれを活用した「雑穀でおかず」の開発・販売

休耕田を整備して雑穀(高きび・ヒエ・アワ等)を生産し、「雑穀おかず」として常温で1年間保存できる商品を開発・販売し、地域活性化を実現させる。

連携体

農林漁業者 糸の里山 (農業)

地元農業者の協力を得ながら休耕田の整備を行い、雑穀の生産・一次加工・商品販売を行う。

中小企業者 (株)グッチートレーディング(飲食料品卸売業)

顧客のニーズを取りこみ、脂質が少なくヘルシーで、栄養価も優れている「雑穀おかず」のメニュー開発と販路拡大を行う

連携参加者 (株)味きっこう(食料品製造業)、(株)フウ未来生活研究所、(有)ブラウズフィールド(以上、専門サービス業(他に分類されないもの))、(株)プラムシックス(情報サービス業)

商品化について、加工とパッキングにおける特殊技術を提供し連携事業者を支援する。

サポート機関等 市原商工会議所、木更津商工会議所、地域活性化支援事務局

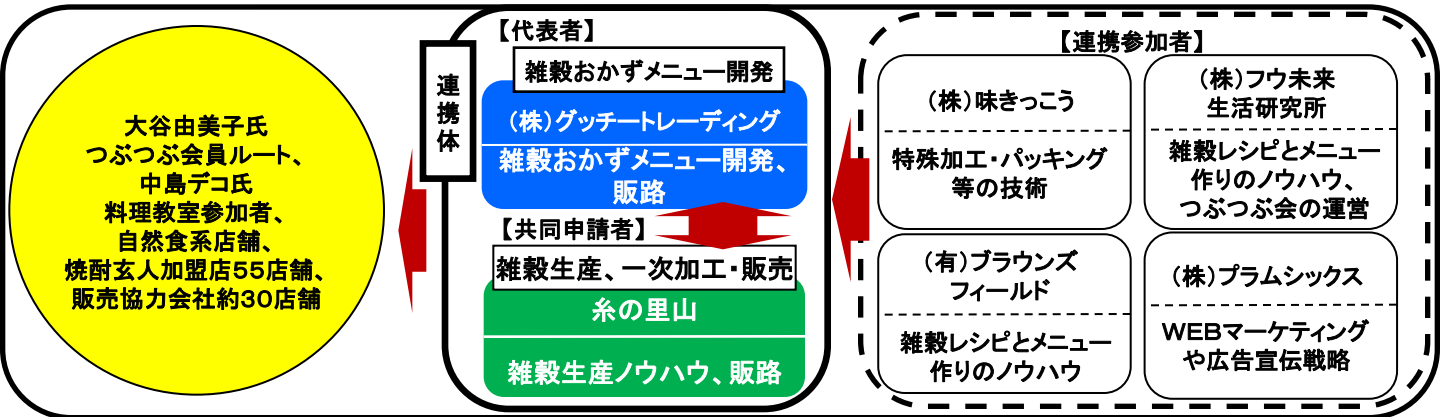
連携の経緯

糸の里山の所在するエリアは、米の卸売価格の低迷等により、耕作放棄地が年々増加している。雑穀栽培と雑穀おかずの商品化について、3年前から糸の里山と(株)グッチートレーディングで検討してきたところ、雑穀は米に比べ荒れた休耕田での栽培がわりと容易であることがわかり、それにより、雑穀おかずメニュー開発と雑穀料理の提供等の目処が立った。これらに協力して取り組むとともに、休耕田・耕作放棄地の再生と地域活性化を目的とすることで連携に至った。



連携に当たっての課題や工夫等

糸の里山は、雑穀の安定供給を目指すために現在の耕作放棄地を再生し原料の高きび・ヒエ・アワ等を栽培する。例えば高きびには食感がひき肉に近く、栄養価が優れているというような特徴があるため、(株)グッチートレーディングは、レシピにも雑穀の味わいの良さが最大限に出るよう工夫する。(株)味きっこうの特許技術を活用することで、風味や賞味期限を延ばすことが可能であり広く流通することが可能である。



連携による効果

農林漁業者 4年で939万円の売上高増加、雑穀作付面積10ha拡大

休耕田の活用とともに、自ら雑穀の一次加工を行う。さらに「雑穀おかず」商品を販売するため高い収益性が期待される。

中小企業者 4年で6,149万円の売上高増加、地域ブランド「上総の雑穀おかずメニュー」の確立

顧客ニーズを取り込みながら、他に類を見ない「雑穀おかず」商品の開発販売を行うことで新しい市場開拓が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名	: 株式会社グッチートレーディング	所在地	: 千葉県木更津市真里谷2562-1
T E L	: 0438-23-7776	F A X	: 0438-23-2175
E - m a i l	: toshie@d-and-b.jp	ホームページ	: http://www.shochu-kurouto.com